

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りを持ち、 多様な進路選択ができる子どもの育成

取組目標

『奈良を知る 地域を知る』－世界遺産と環境－ ～クロスオーバー若草 点から線へ、線から面へ～

今年度の取組紹介

・文化講演会

今年度は、西山 厚氏に「西大寺と叡尊」と題し、ご講演いただきました。楽しい講演会となり、次回の参加を希望される校区外の方も多くおいでになりました。

・トビタテ留学 JAPAN 体験報告会

地域で育った二名の大学生による、留学体験を地域の方々や後輩たちに報告する場を持つことができました。

・コーディネーター会議

年間6回の「地域コーディネーター会議」を継続して開催し、和やかに活動することができ、地域のつながりが深まってきていることを実感できました。



今年度のまとめ

「校区交流ルーム」の整備、「地域コーディネーター会議」の継続ができました。和やかな雰囲気の中、情報交換が進み、地域のつながりがより一層深まっています。

各校園の取組を線で結びつける意識付けが定着し、地域全体に広まってきている。ここからさらに有機的な人々のつながりをつくっていきたいと考えています。

来年度に向けて

- ・地域コーディネーター会議の開催により、コーディネーターのつながりをさらに深めていきます。
- ・若草中学校区各校園の取組内容の理解を深めながら連携を模索していきます。
- ・来年度より加わる、若草子ども園の運営を支援しつつ、広報活動を活性化し、幅広く地域を知ってもらう機会を持ちます。

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りを持ち、 多様な進路選択ができる子どもの育成

取組目標

・ 学びをはぐくむ

今年度の取組紹介

○学習支援

- ・ 学習支援冊子「学びのはぐくみ」の作成・配布
- ・ 「中3学習会」ボランティア

3年生では進路実現に向けてより確かな学力をつけるために地域ボランティアや大学生に協力いただき学習会を行っています。



○地域と共に取り組む行事

- ・ 「ゲストティーチャー」から学ぶ

1年生で多文化理解、2年生で職場体験の事前学習会、障がい者理解講演会にゲストティーチャーをお迎えし、学びました。



○環境整備

- ・ 「図書室と校地環境の整備」

PTAや地域の方々ボランティアとして図書室の蔵書整備や飾り付け、校舎壁面のペンキ塗り、花の植え替えなど生徒の学習環境をより美しく整備していただきました。



○安全支援

- ・ 「部活動巡回ボランティア」

部活動の場に顧問が付けられない職員会議時など、保護者が巡回ボランティアとして見守っていただいています。

今年度のまとめ

保護者・地域の方々に生徒の姿を見ていただく機会を多く持つことができました。また、生徒たちはゲストティーチャーなど多方面でご活躍の方々から多くのことを学ぶことができました。

また、「トビタテ留学ジャパン体験報告会」で先輩の体験を聞く機会が持てたことは、自分の将来を見つめるきっかけとなりました。

来年度に向けて

小中の系統的な学びや地域の方々との連携をより深め、生徒たちが地域で活躍できる場面をさらに増やしていきたいと考えています。

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りを持ち、**多様な進路選択ができる子どもの育成**

取組目標

自分たちの育った校区に誇りを持ち、その素晴らしさを校区内外に発信し、より地域のきずなを深め合えるようにする

今年度の取組紹介

◎つぎかフェスタ（地域連携事業発表会）を通して

本校は、地域の「ひと」「もの」「こと」の出会いを低学年は生活科、中学年・高学年はつぎかタイム（総合的な学習の時間）を中心に地域へ出向いたり、地域の方に来ていただき聞き取りをしたりして学習しています。自分たちで知り得たことや地域の方から教えていただいたことから自分たちの考えや思いをこのフェスタで発信しました。低学年は二月堂の方から聞き取り、「良弁上人」を劇化して発表しました。3年生は自分たちの将来なりたい職業の発表を、4年生は友とのつながりを劇化し発表を、5年生はバラタナゴ学習、宿泊体験などを中心に協力の大切さの発表を6年生は東大寺、五劫院、広島での聞き取りから「平和」についての発表をそれぞれ発信しました。



◎バラタナゴ保全活動事業を通して

平成22年2月に奈良県産ニッポンバラタナゴ親里第1号に本校が認定され、それ以来、近畿大学農学部の北川先生のチームに協力をいただき、絶滅の危険のある「命」の大切さを学ぶ学習を続けています。



今年度のまとめ

世界遺産に囲まれた素晴らしい環境に恵まれ、それら歴史にまつわる様々な行事、習慣等、地域が守り続けた事柄が大変多く、守り続ける人々の結びつきは大変強いです。このような環境の中で、学校が様々な「ひと」「もの」「こと」との出会いを演出することで地域との結びつきを深めることができました。地域の方々よりアドバイスやアイデアを受けながら、つながりが深まったように思います。「であい」を大切にこの活動を進めたいです。

来年度に向けて

地域の「ひと」「もの」「こと」の出会い、つながりを大切にし、自分たちが育った校区を誇れるような取組を進めていきたいです。

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りを持ち、 多様な進路選択ができる子どもの育成

取組目標

佐保に生きる（地域と共に）

今年度の取組紹介

地域連携事業～「佐保っかるた大会」でのふれあい～

本年度からの運営委員会主催の行事で、日頃お世話になっている地域の方々とふれあい、交流する場として開催しました。奈良にちなんだ大きなかるたでの遊びや、地域のコーラスのコンサート、児童のマーチングバンドで日頃の感謝の気持ちを伝えました。



地域連携活動～マーチングバンドの演奏～



本校の伝統ともなっているマーチングバンドの活動では、講師や教員の指導の下、地域のイベントや学校行事・PTA行事の場で日頃の練習の成果を見てもらい、地域とのつながりや地域の活性化にも貢献しています。地域の伝統を守り受け継ぐ心が子ども達にも根付いています。

自然・環境学習～ビオトープ・バタフライガーデンを通して～

「ビオトープ・バタフライガーデンを通しての自然環境学習」も本年度で7年目を迎え、地域にも根付いてきた活動となっています。NPO法人や専門家を受けながら、子ども達が佐保の自然や環境から課題を自らの問題として捉え、一人一人が自分にできることを考え、実践していくこと学んでいます。



今年度のまとめ

新たな地域連携事業として始めた「佐保っかるた大会」に向けて、運営協議会を4回開催し、地域の目指すこれからの姿を共有することができました。当日もお世話になっている地域の方々を紹介したり、一緒にかるた取りの遊びをする中で、地域の連携を深めることができました。特色ある取り組みとして定着しているマーチングバンドやビオトープの活動も、継続していく中で地域とのかかわりを深めたり、地域の文化を受け継ぎ発展させ、次世代に繋いでいく役割も果たしながら、地域の心をついにしていく活動になってきています。

来年度に向けて

「佐保っかるた大会」に向けて運営協議会で何度も協議する中で、地域・保護者・学校が目指すこれからの地域の姿や子ども達の教育を共有することができました。さらに、今後も話し合いを深めながら、地域が一体となってこの事業を推進していきます。

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りを持ち、**多様な進路選択ができる子どもの育成**

取組目標

地域とのふれあい、人・もの・こと との豊かな体験活動を通して、学び合い支え合いながら主体的に学ぶ児童を育てる

今年度の取組紹介

本校は年々児童数が減少し、学校が核となり地域ぐるみで活性化することが喫緊の課題となっています。地域の方々や保護者との連携を取るために、今年度は保護者の方にも参加していただき、教職員と地域・保護者との交流の場を設定し、それぞれの取組について理解を深め、課題を共有し合うことができました。隣接する幼稚園も休園となっていますが、中学校区としての保・幼・小・中の連携による学習活動の活性化、相互の育ち合いを大切にしています。

本校では、①生活科や総合的な学習の時間を中心とした多様な体験や多くの方々との出会いの場の設定、②図書室や学年園を中心とした学習環境整備を進めています。新興住宅地が多くを占める本校区において、これらの学習を通して児童に地域への理解を深め、愛着や誇りを持たせることを主眼としています。そのために、中・長期的な視点で、より多くの学校協力者やボランティアによる学校支援の輪を広げようと努めています。本校の特色の一つである「菜の花プロジェクト」は、これを核として世界遺産学習、環境教育へと体系的につなぎ、魅力ある総合的な学習の時間を構築し、特色ある学校づくりをめざしています。今年も、とれた菜種油を、お世話になった地域の方々やボランティアの方々とともに、5年生が東大寺と春日大社に灯明油として届けました。子どもたちにとって大変貴重な機会を与えていただくことができました。



今年度のまとめ

今年度も「菜の花プロジェクト」を始め、安全見守り活動、地域交流活動等、各活動を深化・発展させました。それぞれの活動は、学校および地域行事として保護者や地域の方々に広く認識されてきています。地域ぐるみで支援していただいている、郷土に根付く特色ある活動や日々の安全活動などから、子どもたちと地域との繋がりもより深くなりました。また、今年度は手紙を書くことで感謝の気持ちを伝えました。この取組は、コミュニケーション力や表現力の向上にも繋がっています。

来年度に向けて

来年度も、地域・保護者の方々に参加を呼びかけて教職員との地域交流会を行うなど、コミュニティスクールの準備期間として、さらに地域との連携を強化させていく必要があると考えています。そのためにも、多様な分野で協力していただけるよう、新しい地域人材の情報収集に努めるなど、今までの積み重ねを大切にしながら、深化・発展させたいと考えています。

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りを持ち、 多様な進路選択ができる子どもの育成

取組目標

幼稚園・保護者地域との連携を大切にしながら、地域の自然環境や様々な人のかかわりを活かした体験を重視し、豊かな心と体を培い、友達と過ごす喜びを育む。

今年度の取組紹介

○ さほっ子クラブ 【伝統文化ふれあい事業】

年間7回「さほっ子クラブ」をする中で、礼儀作法や話を聞く態度や挨拶・姿勢が育ちました。さほっ子クラブの参観では、講師の先生から指導を受ける子どもたちの様子に「真剣な顔している」「動きが剣道らしくなってきた」等、保護者の方から子どもたちの成長に驚きの声がたくさん聞かれました。



○ 子育て広場さほ 【未就園児保育事業】

地域のボランティアの方たちの協力を得て、年間を通してひよこ組（0～2歳児）・うさぎ組（3歳児）の親子活動を実施しています。未就園児には、幼稚園の生活に慣れることや、保護者の方には、幼稚園での様子を知り安心して入園でき、また、ボランティアの方に子育ての悩みを相談したり、親同士が友だちになったりするよい機会となっています。在園児と一緒に新聞紙で遊んだり、遊び方を教えてもらったりして、ふれあいを楽しんでいます。「お姉ちゃんと一緒に遊んで楽しかったみたいです」「恥ずかしがっていましたが、少し慣れて遊ぶようになりました」等未就園児の保護者の方から話を聞くことができました。



今年度のまとめ

【さほっ子クラブ】は、佐保幼稚園の特色ある取組であり、親子でとても楽しみにしている活動です。子どもたちは、日本の伝統文化に触れ、体験することで話を聞く態度や挨拶の大切さを感じ、地域の方とのかかわりも深めていくことができました。今年度在園児と未就園児がかかわれるよう未就園児の保育室を在園児の隣に移動したことで、かかわりが多くなり、在園児が未就園児にやさしく声をかけたり接したりするようになり、思いやる優しい心が育ち、楽しく触れ合って遊ぶ姿が見られるようになりました。いきいきと遊ぶ姿が見られるようになりました。また、地域の方が継続して活動してくださっているのので、子どもたちの成長の過程を見ていただくよい機会となっています。

来年度に向けて

今後も家庭・地域との連携を大切にしながら、様々な感動体験ができるよう活動内容の充実を図っていきます。心豊かに育ちあう楽しい幼稚園をめざせるように、地域の教育力を活かして連携を深めていきたいです。